

## 助成事業実施報告書

団体名 東海アレルギー連絡会

代表 足代 智志



## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 助成プロジェクト名

東海地域のアレルギーの会(患者会)と、各地の災害ボランティア団体・防災課をつなぐ事業(第2弾)

## 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

阪神淡路大震災の時には、アレルギーの連絡会が組織されていたため助け合うことができたという教訓より、震災対策など日常的な協力関係をもつために、東海地域の患者会が、2001年6月に「東海アレルギー連絡会」を組織しました。現在、約25の団体が加盟し、年に4回程度の交流会を開催し、勉強会や情報交換、災害対策の検討などを行っています。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

アレルギー患者は、災害時支援活動の隙間に入り、自治体や災害ボランティア団体などの支援が行き届かないことが少なくないため、自助、共助、公助の仕組みを平常時に作っておくことが重要課題です。熊本地震においても、患者支援の団体もなく平常時に仕組み作りをしていなかったため、アレルギー患者に対する支援が行き届かないことが露呈しました。今回の助成金で、地域における共助の仕組みづくりを積極的に行うことができました。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

アレルギー患者家族における共助の仕組みづくりができていない市町村(春日井市・刈谷市・瀬戸市・東海市)において、患者会と防災課、災害ボランティア、社会福祉協議会、医療機関をつなぐネットワークを作ることを目的に「アレルギーっ子の防災ミニシンポジウム」を開催しました。

そして、3/25(土)東海アレルギー連絡会において、4か所で行ったシンポジウムの報告と、勉強会「1歳からの防災教育～親子で学ぶ防災・減災～」を開催し、平常時の備えができていない地域に活動を広げる取り組みを行いました。

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

H29.1/21(土)春日井市(56名)、1/22(日)刈谷市(52名)、1/29(日)瀬戸市(42名)、3/11(土)東海市(72名)の参加があり、医師・防災課・社会福祉協議会・災害ボランティア・保健センター・NPO法人アレルギー支援ネットワークの報告内容を共有することにより、アレルギー患者に対する平時の備えの大切さを学びました。昨年度に引き続き、新たに4市で啓発活動ができ、自治体の職員や、広く一般市民の理解を得ることに繋がりました。特に、刈谷市では、赤十字奉仕団が活動報告をされ今までには見られなかった広がりを感じました。シンポジウム開催後は、アレルギー対応の備蓄品を増やす検討が始まったり、防災訓練への参加計画が進んだり施策の向上が期待されています。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

シンポジウムを開催することにより、アレルギーに関する理解が深まり、自治体・医療機関・社会福祉協議会・災害ボランティア・患者会など参加団体が、平常時にネットワークを組み、備えておくことの大切さを学ぶことができます。大切なことは、このつながりを維持することができるよう、地域の患者会が啓発活動を継続することです。しかしながら、その組織運営は患者の母親がしており脆弱で、公的支援もまだまだ不十分です。東海アレルギー連絡会として、横のつながりを持ち、情報交換や知識のレベルアップをすることにより、各地の患者会が活発に活動できるよう支援いたします。

## 7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり



知ることから始めよう！

# 春日井市の災害対策

～備蓄やアレルギー対策を知って、皆で災害に備えよう



日時 2017年1月21日(土) 14:00～16:30 (開場 13:30)

会場 グリーンパレス春日井 (春日井市勤労福祉会館) 第5会議室(2階)

春日井市東野町字落合池 1-2

## 《 プログラム 》

- |                                   |                               |
|-----------------------------------|-------------------------------|
| ① アレルギーとは？ (30分)                  | あいち小児保健医療総合センター小児科 医師 酒井 一徳 氏 |
| ② <u>春日井市の備蓄・災害時の対応について</u> (15分) | 春日井市総務部市民安全課                  |
| ③ <u>災害が発生した時の対策について</u> (15分)    | 社会福祉協議会                       |
| ④ <u>災害ボランティアの役割</u> (15分)        | 春日井市災害ボランティアコーディネーター連絡会       |
| ⑤ 災害時の役割について (15分)                | 春日井市健康福祉部健康増進課 保健師            |
| ⑥ アレルギー疾患を持つ子どもの災害対策 (20分)        | アレルギー支援ネットワーク 中西 里映子 氏        |

《 対象 》 春日井市の災害対策に関心のある方

春日井市周辺にお住まいの方も参加可能です。(定員 50名)

《 申し込み 》 1月18日(水)までに アレルギー歩みの会 [allergy.ayumi@gmail.com](mailto:allergy.ayumi@gmail.com) までメールでお申込みください。

参加者全員の氏名、年齢(子どものみ)、住所(〇市〇町まで可)、

電話番号、アレルギーの有無(あれば喘息・アトピー・除去食なども記載)をお願いします。

《 お問い合わせ 》 アレルギー歩みの会 Mail: [allergy.ayumi@gmail.com](mailto:allergy.ayumi@gmail.com)

認定NPO法人 アレルギー支援ネットワーク

Tel: 052-485-5208

Mail: [info@alle-net.com](mailto:info@alle-net.com)

【主催】 東海アレルギー連絡会 ・ アレルギー歩みの会

【協力】 認定NPO法人 アレルギー支援ネットワーク

本事業の一部は真如苑『市民防災・減災活動助成金』を受けて実施致します。



備蓄品の展示、  
試食もあるよ♪

参加無料  
途中入退場OK